



那須

1 月号
No.737
2021年 (令和3年)

表紙シリーズ マイクロツーリズム 近場で楽しむ

新年×新成人×新企画

音訳ボランティアの協力を得て、目の不自由な人のために音訳版広報那須を作成しています。
詳しくは広報広聴係まで

目次

タウントピックス	2
特集～8市町の特産・名産品～ ..	4
子育て・ほけんだより	15
生涯学習だより	17
図書館だより	21
タウンinformation	22
カメラスケッチ	24
みんなの広場	26
那須平成の森だより	30



新年のご挨拶

あけまして おめでとう ございます



皆さまには、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の動きを振り返りますと、新型コロナウイルス感染症により、基幹産業である観光業や農林業をはじめとする町の経済は大きな影響を受け、かつて経験したことがないほど落ち込みました。

町では、新型コロナウイルス禍に関連した国、県並びに町独自の緊急支援策を取りまとめた補正予算を5月、6月、7月開催の町臨時議会において決定し、営業を自粛された事業者へは「感染拡大防止支援金」を支給、国が実施する雇用調整助成金申請事業者に対しては、助成金交付額の10%を「事業主向け雇用維持支援金」として支給するなど、町民の暮らしを守り、経済回復のための施策を実施しました。また、現在、町内の全小中学校に校内LANを整備しているところであり、当初の予定を1年前倒しし、3月末までに児童生徒に1人1台タブレットを配置します。

こうした中、県内自治体では初めて、PFI手法による新婚や子育て世帯向けの賃貸住宅「黒田原地区定住促進住宅」の整備を開始し、令和4年1月の入居開始を目指

しています。また、増加傾向にある空き家1棟を「サテライトオフィス」として県内の自治体で初めて総務省の「お試しサテライトオフィス」に登録し、新たな社会に対応する取組みを始めました。

全国的に新型コロナウイルスの感染拡大が続く、予断を許さない状況ではありますが、町内においては感染が拡大することなく穏やかな新年を迎えられますのも、町民や事業者の皆さまの感染拡大防止の取組みのおかげと感謝申し上げます。

さて、本年は、第7次那須町振興計画後期基本計画の初年度となります。将来像である「みどり輝き活気と笑顔あふれるまちふるさと那須」のため、町民の暮らしに関する分野では、定住促進、福祉、教育ICT化の促進、子育て支援を重点的に進めていきます。

経済分野では、新型コロナウイルスの感染予防を徹底した観光や農林業の振興のほか、私の公約である「地区別再生計画」の推進を念頭に、町内を4つの地区に分け、地域の特色を生かした活性化事業を推進します。

ポストコロナという新たな時代を見据え、経済再生のための施策を着実に推進し、行政と町民が一体となった持続可能で魅力あるまちづくりに全力で取り組んでまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、この1年が皆さまにとって辛多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年の挨拶いたします。

那須町長

平山 幸宏

那須拓陽 県で3連覇

稲葉夢斗さんが県大会で区間賞獲得
全国大会出場!

県高校駅伝競走大会(11月3日開催)で、那須拓陽高校が3連覇を果たしました。同校2年の稲葉夢斗さん(上川)が7区で区間賞の走りをし、優勝に貢献しました。12月4日、全国高校駅伝競走大



生田目修さん
シクロクロス全日本選手権で優勝!

11月28日長野県飯山市で開催された、シクロクロス全日本選手権の男子マスターズ40・49(40歳代)のクラスでイナメ信濃山形に所属している生田目修さん(茶臼)が、優勝を果たしました。



会(12月20日開催) 出場に向け、平山町長を訪れた稲葉さんは、「区間では去年走った先輩の記録を破ること、チームで県記録更新することを目標に良い走りをした」と意気込みました。

また、大会後の12月22日、小川校長と鈴木監督が全国大会(総合38位)の報告に訪れ、「流れに乗れず県記録に届きませんでした。来年は、選手たちの推薦もあり稲葉さんが主将としてチームを作り上げていきます。あたたかく見守ってください」と話し、平山町長は、「稲葉さんとチームがこれからは、」と激励しました。

生田目さんは、40歳から自転車競技をはじめ、実業団に3年在籍し、現チームに所属して3年目。普段は会社に勤めながら、自分で考えたメニューで練習しています。12月4日、優勝報告に平山町長を訪れ、「シクロクロスは、激しい坂や山林などがあるオフロードで行われる自転車競技で、自転車を担がないと走れない箇所もある過酷な競技です。当日はみぞれでしたが、2位を1分以上引き離して、優勝することができました。またこの大会で優勝できるよう頑張ります」と笑顔を見せました。生田目さんの活躍が今後も期待されます。

また、大会後の12月22日、小川校長と鈴木監督が全国大会(総合38位)の報告に訪れ、「流れに乗れず県記録に届きませんでした。来年は、選手たちの推薦もあり稲葉さんが主将としてチームを作り上げていきます。あたたかく見守ってください」と話し、平山町長は、「稲葉さんとチームがこれからは、」と激励しました。

また、大会後の12月22日、小川校長と鈴木監督が全国大会(総合38位)の報告に訪れ、「流れに乗れず県記録に届きませんでした。来年は、選手たちの推薦もあり稲葉さんが主将としてチームを作り上げていきます。あたたかく見守ってください」と話し、平山町長は、「稲葉さんとチームがこれからは、」と激励しました。

〒329-3292
Fax ⑦ 1112
那須町大字寺子丙3-13
tel: yu@town.nasul.jp

▼応募方法 ①愛称、②愛称の意味・理由、③応募者氏名、④住所、⑤電話番号を記載し、郵送フアクシミリ、電子メールのいずれかで応募

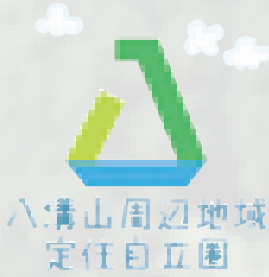
▼募集期間 1月29日(金)まで
▼応募方法 ①愛称、②愛称の意味・理由、③応募者氏名、④住所、⑤電話番号を記載し、郵送フアクシミリ、電子メールのいずれかで応募

黒田原地区(上の原)に新婚・子育て世帯向けの住宅「黒田原地区定住促進住宅」を整備しています。この住宅が町民の皆さんに広く親しまれるとともに、活気にあふれ、町の元氣アップにつながるような愛称を募集します。



- 〈整備する住宅の概要〉
- ▼対象 新婚・子育て世帯
 - ▼構造 鉄筋コンクリート造
 - ▼階数 3階建て
 - ▼住戸数 21戸
 - ▼その他 上下水道、エレベーター、駐車場完備

八溝山周辺地域定住自立圏



まちの特産品・名産品をご紹介します!

8市町おすすめの製品を紹介しします。ここで紹介する製品以外にも各市町には、おいしいものがたくさんあります。地域に目を向け、お気に入りを見つけてみましょう。

那須塩原市 那須塩原ブランド



地域産業の活性化のため、「那須塩原らしさ」や「独自性」を持った特産品を「那須塩原ブランド」に認定しています。自然の恵みの中で育った塩原高原野菜や温泉水を使ったお酒、生乳生産本州一を誇る那須塩原市自慢の乳製品など市の魅力が詰まった商品が本ブランドに選定され、注目度もアップしています。

■問合せ 那須塩原市農務畜産課
☎0287-62-7147

大田原市 大田原ブランド



大田原市では、地域活性化・地域ブランドの確立のため、優れた特産品を「大田原ブランド」として認定しています。

現在、与一和牛や大田原の地酒の他、栃木三鷹(唐辛子)や鮎を使用した料理など16品目を認定し、市ホームページで紹介しています。

大田原市にお越しの際はぜひご賞味ください。

■問合せ 大田原市商工観光課
☎0287-23-3145

那須町 那須ブランド認定品



那須ブランド認定品には、生産者・製造者が心をこめて作った米や野菜、肉、乳製品、お菓子などが多くあり、現在、52種が認定されています。道の駅那須高原友愛の森内「ふるさと物産センター」では、那須ブランド認定品のほか那須町の特産品など、那須を代表する魅力あふれる商品が揃っています。

■問合せ 那須ブランド推進委員会事務局
(那須町商工会) ☎72-0231

那珂川町 那珂川ゆば丼



町内のゆば工場と飲食店15店舗が協力し、11月6日、町の新たな名物「那珂川ゆば丼」が誕生しました! 栃木県産の大豆を100%使用した良質な豆乳から作られた濃厚で滑らかな食感のゆばを、和食・洋食・中華にと、各店舗がそれぞれの個性を活かしてゆば丼に仕立てました。「ゆば丼」と書かれたオレンジ色のぼり旗が目印です。

■問合せ 那珂川町産業振興課商工観光係
☎0287-92-1116



那須ブランド認定のホームページでは、現在認定されている52種の特長や施設の場所を掲載しています。(関連記事9頁)



八溝山周辺地域定住自立圏とは

大田原市を中心に、那須塩原市、那須町、那珂川町、棚倉町、矢祭町、埴町、大子町の2市6町で協定を結び、協力して地域活性化などに取り組む組織です。

福島県埴町 こんにゃく製品



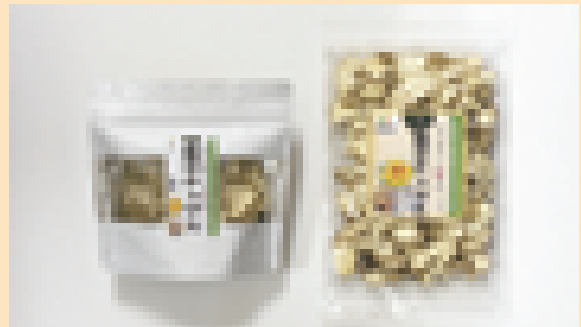
こんにゃく餅 陣野菓子店
☎0247-43-1234



刺身こんにゃく道の駅はなわ
☎0247-44-0123

埴町では江戸時代からこんにゃくを食べ、現在に至るまで地域の食文化として根付いています。近年は「こんにゃく」の名を冠したさまざまな商品が開発されています。その中でも、程よい甘さと独特な食感の「こんにゃく餅」と、素材の良さをそのまま生かした「刺身こんにゃく」が人気です。埴町にお越しの際はぜひご賞味ください。

福島県棚倉町 菊芋チップス



菊芋チップスは、天然のインスリンとして注目されている菊芋を丁寧に乾燥させ、食べやすくチップスにしたもので、食べる健康食として人気があります。手軽に食べることもでき、お茶や漬物、炒め物にするのもおすすめです。

町では、菊芋チップスの他にも、えごまドレッシングや棚倉美泥石けんなど、14品が「棚倉町ブランド」として認証されています。

■問合せ 棚倉町農作物・物産品ブランド化推進協議会
☎0247-33-2113

茨城県大子町 奥久慈しゃも



地鶏の最高傑作との呼び声が高い奥久慈しゃもは、日本を代表する地鶏です。2018年、国の地理的表示(GI)保護制度に地鶏として初めて登録されました。

奥久慈の自然の中で十分に運動させ、丁寧かつ野性的に育てられたその肉質は低脂肪でしっかりとした歯ごたえがあり、コクのある豊かな味わいが魅力です。

■問合せ (一社) 大子町特産品流通公社
☎0295-76-8220

福島県矢祭町 とちおとめ



矢祭町は福島県内でもトップクラスのいちごの産地として知られており、町内で栽培されているいちごは、粒が大きくて美しい色合いの「とちおとめ」が主流です。特に、寒さが厳しい1月～2月は甘味がしっかり蓄えられるため、最もおいしい時期を迎えます。

■問合せ 矢祭町役場事業課産業グループ
☎0247-46-4576

栃木県地域企業感染症対策支援補助金の 公募が始まります

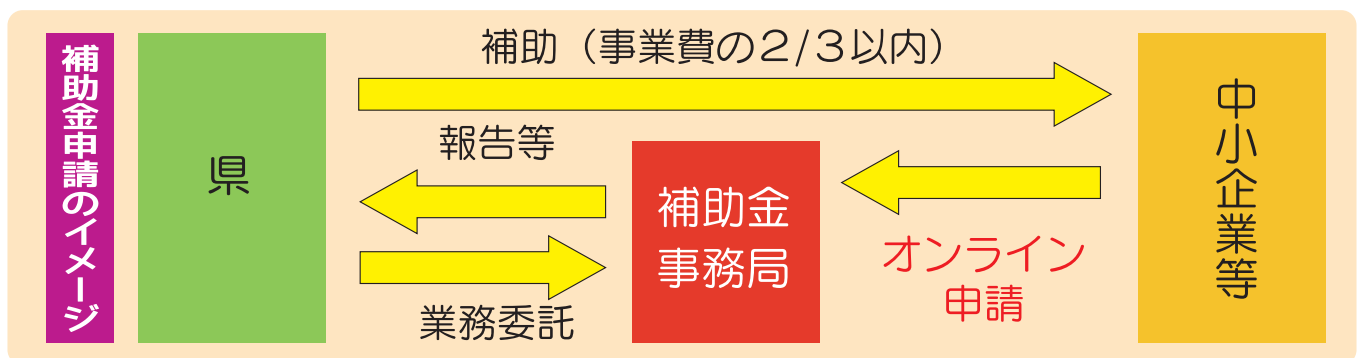
新型コロナウイルス対策強化のため、栃木県が県内中小企業等の感染対策を支援します。
(詳細は準備中ですが、決定次第県ホームページでご案内します)

- 事業内容 中小企業等が行う感染症対策に要する経費を助成
- 対象者 中小企業、中小企業組合等
- 補助率等 ○補助率：2/3以内 ○補助金額：上限額300万円（下限額10万円）
- 対象経費 下記の事業区分ごとに補助金額を設定
- スケジュール ○12月下旬頃 補助金事務局とポータルサイトを開設
○1月下旬頃 ポータルサイト上で補助金申請受付開始（オンラインのみ）

事業	事業区分	補助率	補助金額
新たな生活様式への対応に必要な機器整備	①不特定多数が出入りする場所への自動検温サーマルカメラ、パーテーションの設置	2/3以内	10～50万円
	②キャッシュレス決済、セルフレジ、自動精算機の導入		10～100万円
	③セルフオーダーシステム、セルフチェックインシステムの導入		10～100万円
	④券売機、整理券発行機の導入		10～100万円
非対面型ビジネスモデルへの転換	⑤デリバリー、移動販売に必要な専用車両の購入		10～50万円
	⑥ECサイトの構築		10～100万円

※他の補助制度と重複して補助を受けることはできません。

※申請額が予算額（6億円）に達し次第、受付を終了する予定です。



本補助金はオンライン申請となる予定となっており、申請には「G Biz | Dプライムアカウント」が必要です。【G Biz | D事務局】（アカウント取得には数週間かかります）

☎06-6225-7877 ホームページ <https://gbiz-id.go.jp/top/>

■問合せ

○県ホームページ <http://www.pref.tochigi.lg.jp/f03/20201210kansenshotaisakuhojyokin.html>

○町観光商工課 ☎72-6918

新型コロナウイルス 栃木県医療危機警報発令 (1月11日まで)

県民の皆さんへのお願い 不要不急の外出はできるだけ控えてください
警戒度レベル「感染嚴重注意」継続！

感染リスクが高まる「5つの場面」に注意しましょう

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍くなり、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間に及ぶ飲食

- 長時間に及ぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共同部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



県民の皆さんへ 協力をお願い

- マスクの着用、換気をはじめ、3密の回避や手洗いなど、基本的な感染防止対策を徹底しましょう。
- 特に、感染リスクが高い場面（大人数、長時間の飲食・飲酒、マスクなしでの会話など）を避けるようにしましょう。
- 体調が悪い場合は、仕事は休み、旅行や外出は控えるようにしましょう。
- 施設に応じた感染防止対策の徹底が行われていない場所への外出を避けましょう。
- 感染拡大地域への不要不急の外出はできるだけ避けましょう。
- 感染拡大地域への外出時は、感染のリスクを避ける行動をしましょう。

人権に配慮し、差別・偏見・誹謗中傷はやめましょう！

- 公的機関が発信する正確な情報に基づき冷静に行動し、デマ情報、不確かな情報に惑わされないようにしましょう。
- 新型コロナウイルス感染症は、誰もが感染する病気です。相手を思いやる気持ちを持ち、冷静に行動しましょう。

栃木県LINE公式アカウント 「栃木県-新型コロナ対策パーソナルサポート」



スマートフォンから登録することで、感染症予防対策や、患者発生状況等の情報が届きます。

パブリックコメント

皆さんの意見を募集します

那須町空家等対策計画

町では、「那須町空家等対策計画」の策定を進めています。この計画に対する意見を募集します。

▼計画の概要 那須町空家等対策の推進に関する条例第5条に基づき、空家対策における基本方針を定めるものです。

▼意見を提出できる方

①町内に住所を有する方

②町内に事務所または事業所を有する方、法人等

③町内の事務所または事業所に勤務する方

④町内の学校に在学する方

⑤町に対して納税義務を有する方、法人等

⑥上記計画または上記条例に利害関係がある方、法人等

▼公表資料 那須町空家等対策計画（案）

▼閲覧場所 ①ふるさと定住課（本庁2階）、湯本支所、芦野支所、伊王野支所（午前8時30分～午後5時、土日祝日を除く）

②町ホームページ

※「意見用紙」は閲覧場所の各窓口に備え付けてあるほか、町ホームページからもダウンロードできます。

▼注意事項等

○電話による意見の受け付けはできません。

○提出された書類は返却できません。○個人情報目的以外には使用せず、公表もしません。○左記のようなものは意見として取り扱いません。

・住所、氏名、電話番号等が未記入で要件を満たしていない場合
・本件に直接関係ない場合

▼意見の公表方法等

○提出された意見は、内容を整理検討した上、これに対する町の考え方とともに担当窓口や町ホームページで公表します。

○提出された意見等に対する個別の回答は行いません。

○単に賛否だけを示した意見や、今回の募集の趣旨に直接関係のない意見には町の考え方は示しません。

▼募集期限 1月15日（金）
▼提出先・問合せ ふるさと定住課定住促進係
☎ 6955 Fax 1112
〒329-3292
那須町大字寺子丙3-13
✉ teijyu@town.nasu.lg.jp



12月議会定例会 黒田原駅前多目的施設の設置及び管理に関する条例の制定など18議案を可決

令和2年第7回那須町議会定例会が11月27日から12月7日までの11日間開催され、18議案が可決されました。主な議案は次のとおりです。

【黒田原駅前多目的施設の設置及び管理に関する条例の制定】

町民に憩いと集いの場を提供し、町民相互の交流や町の中心市街地および黒田原駅前の活性化を図るため、黒田原駅前多目的施設の設置および管理に関して必要な事項を定めるものです。

【第7次那須町振興計画後期基本計画の策定】

那須町のまちづくりを計画的に推進するため、長期的かつ総合的な視点に立ち、令和3年度からの5年間を展望するビジョンを定め

るため、第7次那須町振興計画後期基本計画を策定するものです。

【町有財産の無償譲渡】

那須高原保育園を民営化するにあたり、移管先事業者である社会福祉法人陽向に建物および工作物等を無償で譲渡するものです。

【補正予算】

役場庁舎改修に係る工事費を計上したほか、ふるさと那須町応援寄附金の受入額増加に伴う費用や、新型コロナウイルス感染症対策としてインフルエンザ予防接種に係る費用などを令和2年度一般会計補正予算に計上しました。

マイナンバーカード交付の休日窓口のご案内（予約者限定）

次の日程で休日窓口を開設します。平日にマイナンバーカードの受け取りができない方は、この機会をぜひご利用ください。なお、必ず予約をお願いします。

当日予約はできません。また、予約がない場合は、開設しません。



マイナンバー

- ▼日程 2月6日（土）、28日（日）
- ▼時間 午前9時～正午
- ▼場所 住民生活課（本庁1階）
- ▼問合せ 住民生活課戸籍住民係 ☎ 6908

那須ブランド推進委員会 第14回那須ブランド認定品募集

町のイメージアップや経済の発展、知名度の向上を図ることを目的に認定品を募集しています

- ▼認定要件
 - 町で生産され、町の素材、名勝歴史等が活かされていること
 - 町を域外にアピールすることができること
 - 生産者、製造者のこだわりがあり、品質が確かであること
- ▼申請資格者
 - ① 那須町商工会会員
 - ② 那須町森林組合員
 - ③ 那須町観光協会員
 - ④ 那須野農業協同組合、那須地区組合員
 - ⑤ ①から④の会員・組合員以外の方で那須ブランド認定委員会が

- 認めた方
 - ▼応募期間 1月29日(金)まで
 - ※原則として、第1回〜第13回認定品を含め1事業所1品目(種類)の認定となります。
 - ▼認定品等の取扱い 商品(サービス)等が認定されると、認定品に対して那須ブランド認定書を交付し、認定品を周知するため、認定品カタログやホームページ等に掲載します。
 - ▼登録料 1件1万円
 - ▼申請・問合せ 那須ブランド推進委員会事務局(那須町商工会)

町では「プレゼン力」がこれからの社会を生き抜く能力の一つと捉え、一昨年度から児童・生徒・教員によるプレゼンフェスティバルを開催しています。

今年度は「那須町」をテーマに、個人・団体が多様な表現方法により、追究した成果や想い等を発表します。発表を聞いて、想いを共有し、新たな目標を発見する機会にしてみませんか。多くの皆さん

- ▼ご来場をお待ちしています。
- ▼日時 2月6日(土)午前9時〜午後1時(受付午前8時30分〜)
- ※小学生、中学生、高校生、教員の部があります。
- ▼場所 文化センター大ホール(定員500人) 入場無料
- ※マスク着用のご協力をお願いします。
- ▼問合せ 学校教育課

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた方へ 保険税等を減免します

- 次の要件を満たす方は、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料が減免となります。
- ▼対象
 - 新型コロナウイルス感染症により、主たる生計維持者が死亡し、または重篤な疾病を負った世帯の方(全額免除)
 - 新型コロナウイルス感染症により、主たる生計維持者の収入が減少し、次の①②どちらにも該当する世帯の方(全部または一部免除)
 - ① 給与収入、事業収入、不動産収入、山林収入のいずれかの減少額(保険金、損害賠償等により補填されるべき金額を控除した額)が前年の当該事業収入額の

- 10分の3以上であること
- ※減少した事業収入にかかる前年の所得が0円(マイナスは0円)の場合は適用外となります。
- ② 減少した事業収入等に係る所得以外の前年の所得の合計額が400万円以下であること(国民健康保険・後期高齢者医療保険は、さらに前年の所得の合計額が1,000万円以下であること)
- ▼申請期限 1月29日(金)まで
- ※申請には、収入を証明する書類等が必要です。詳しくは、町ホームページをご確認いただくか、お問い合わせください。
- ▼申請・問合せ 税務課庶務諸税係

那須町社会福祉協議会 職員募集

▼職種・採用予定人員 保健師 1人

▼職務内容 介護予防(介護予防教室等企画運営)、高齢者の総合相談業務、その他(地域包括支援センター業務全般に従事)

▼受験資格 昭和60年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた方で、保健師の資格を有する方(令和3年3月取得見込みを含む)または、訪問看護や通所介護等、地域ケア、地域保健等に関する経験と高齢者に関する公衆衛生業務を1年以上有する正看護師

※採用までに普通自動車運転免許を有すること

- ▼雇用期間 令和3年4月1日から
- ▼勤務時間 午前8時30分〜午後5時15分(その他、職員就業規程の規定による)
- ▼受付期間 2月2日(火)まで
- ▼受付時間 午前8時30分〜午後5時15分(土日祝日を除く)
- ▼試験日・場所・内容
 - ・ 期日 2月21日(日)
 - ・ 場所 ゆめプラザ・那須
 - ・ 内容 筆記試験(基礎力試験、適応検査)、面接試験
- ※試験案内、申込書等、詳しくはホームページをご覧ください。
- ▼申込み・問合せ 町社会福祉協議会地域福祉係